

でんぎの礎

— 振り返れば未来が見える —

よ さ み そ う し ん じ ょ と ち ょ う ち ょ う は に よ る
依佐美送信所と超長波による
は つ の お う し ゅ う と の む せ ん つ う し ん
初の欧州との無線通信

モノ

こと

場所

Yosami Radio Transmitting Station and the First Wireless Communications
between Japan and Europe with Very Low Frequency



①

②

第一次世界大戦後、国際通信の重要性が認識され、海外通信専用の大電力無線通信局の一つとして対欧無線局の建設を行うこととなりました。これを受けて、依佐美送信所は、1929年、愛知県碧海郡依佐美村（現刈谷市）に建設され、当時国際無線通信に有効とされていた超長波を使って、日本から欧州への送信を初めて行いました。②のように高さ250m・間隔約480mの鉄塔4対8基に懸架された送信空中線を設備し、発信機側は、三相誘導発電機・直流発電機・直流電動機を経由して当時世界最大規模の700kVA高周波発電機（出力周波数：5.814kHz）で発電した後、三漕倍回路による周波数（17.442kHz）を出力する構成としており、技術的にも極めて高い価値があります。

その後、超長波無線通信から短波無線通信が主流となり、依佐美送信所は短波送信機を設備して超長波は補助的な役割となりましたが、欧州向けの無線通信の中心として重要な役割を継続しました。なお、超長波が水中に伝播する特性に注目され、第二次世界大戦中は日本海軍、戦後は米国海軍の潜水艦との通信にも依佐美送信所は使われました。

現在、250m鉄塔の最上部と基部を組み合わせると高さ25mの記念鉄塔として2号塔跡に、これに隣接して新築された依佐美送信所記念館に高周波発電機など超長波送信装置一式が公開されており、記念館のガイドはボランティアの方々によって支えられています。

- ☆顕彰先 : 依佐美送信所記念館（刈谷市）
- ☆所在地 : 〒448-0812 愛知県刈谷市高須町石山2-1
フローラルガーデンよさみ内
- ☆ホームページ : <http://www.fg-yosami.com/soshinjo.htm>（依佐美送信所記念館）
<http://yosami-radio-ts.sakura.ne.jp/>（依佐美送信所公式サイト）
- ☆アクセス（最寄駅）：JR東海道本線刈谷駅南口よりタクシーで7分



③



④



⑤



⑥

(写真提供：依佐美送信所ガイドボランティアの会①②、刈谷市③～⑥)

- ① 依佐美送信所本館（当時）
- ② 鉄塔（当時）
- ③ 送信機室内（当時）
- ④ 送信機室外観（当時）
- ⑤ 記念館の全景と記念鉄塔
- ⑥ 記念館内部